



Sony Computer Entertainment Inc.

2005年7月29日

COLLADA™が米国クロノスグループにより オープンスタンダード（標準規格）として採用

ソニー・コンピュータエンタテインメント（SCEI）が提唱し、各社と開発を進めてきたソフトウェア開発者用共通ファイルフォーマットCOLLADA™（=COLLABorative Design Activity）が、米国Khronos™ Group（以下クロノスグループ）により、インタラクティブエンタテインメント業界におけるオープンスタンダード（標準規格）として採用されました。

COLLADA™は、インタラクティブエンタテインメント業界において各社が保有するプログラムやライブラリなどのデジタル資産を相互に変換・活用することを目的にしたXMLベースの共通ファイルフォーマットです。さまざまなツールやプラットフォーム上のデータを横断的に活用したいというコンテンツ開発者からの強い要請を受けてSCEIが最初に提唱し、賛同を得られた主要なツール・ミドルウェア会社と協力しながら改良を行ってまいりました。

クロノスグループは、加盟企業により運営される業界コンソーシアムで、さまざまなプラットフォームや機器の上でダイナミックメディアのオーサリングや再生を可能にする、OpenGL® ESなどのオープンでロイヤルティを必要としない標準API（Application Program Interface）の策定を行っています。

今回、クロノスグループの認定した標準規格群の一つに加わることで、COLLADA™はゲームのみならず、映画やコンピュータグラフィックスなど最先端の映像制作における共通ファイルフォーマットとして幅広い活用が期待されます。

SCEIは、今後もクロノスグループの一員としてCOLLADA™のサポートおよび開発を積極的に推進するとともに、全世界のコンテンツ開発者の皆様に向けて、より充実した開発環境および開発ツールを提供し、新しいコンピュータエンタテインメントの創造を強力に推進してまいります。

以上